

# 2011年3月期 第1四半期 決算概要

テルモ株式会社  
執行役員 経営企画室長  
佐藤 慎次郎  
2010年 8月 5日

# 決算概要 (第1四半期)

(億円)

	10/3期 Q1	11/3期 Q1	増減率
売上高	775	812	5%
粗利益	416 (53.6%)	423 (52.1%)	2%
販管費	251 (32.3%)	264 (32.5%)	5%
営業利益	165 (21.3%)	159 (19.6%)	-3%
経常利益	169 (21.9%)	126 (15.5%)	-26%
純利益	108 (14.0%)	88 (10.8%)	-19%
期中平均レート	US\$ 97円 EUR 133円	92円 } 売上高 117円 } -3%影響	

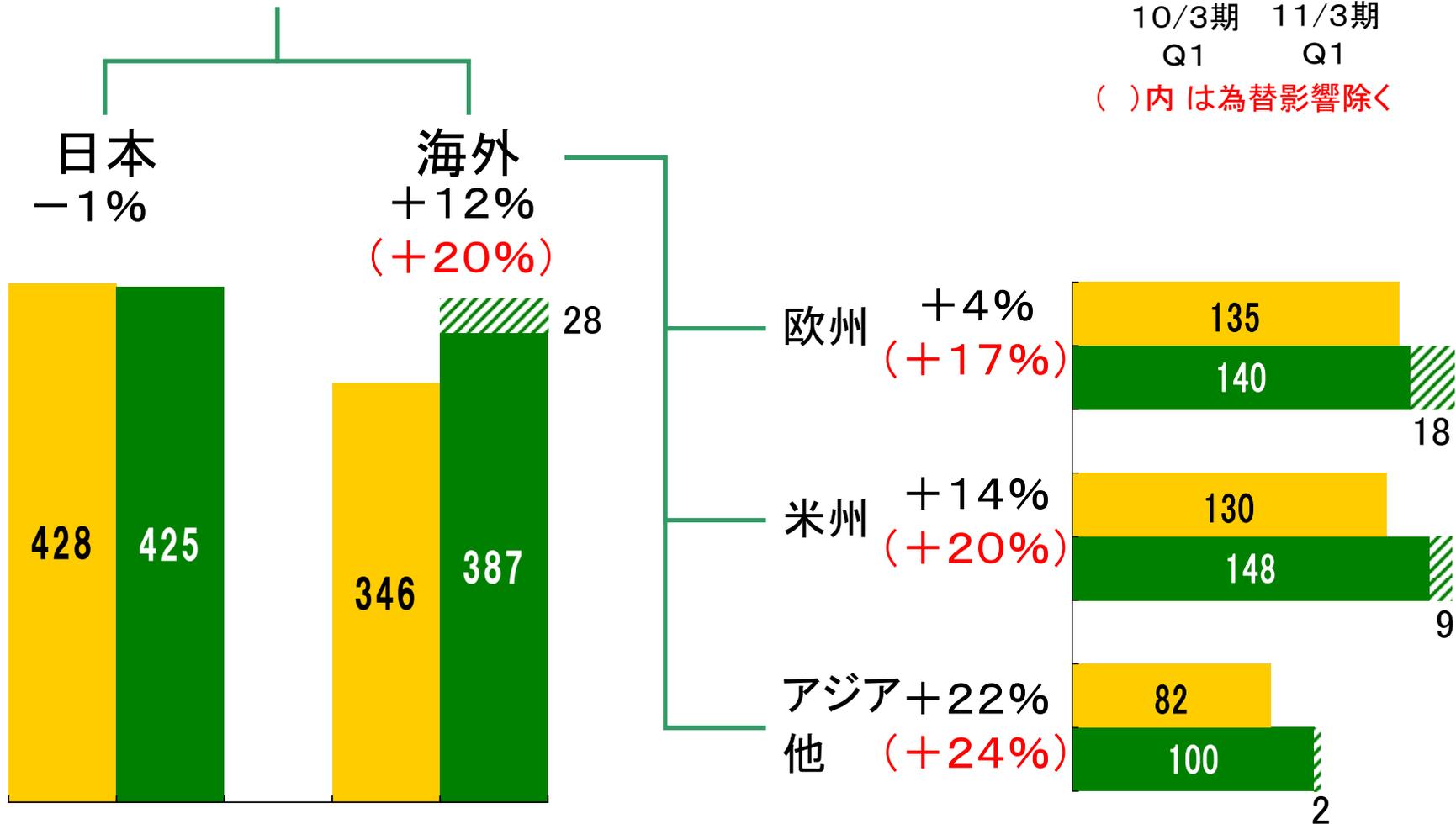
# 売上高 (地域別)

連結: +5% (+8%)

(億円)

10/3期 Q1 11/3期 Q1

( )内は為替影響除く



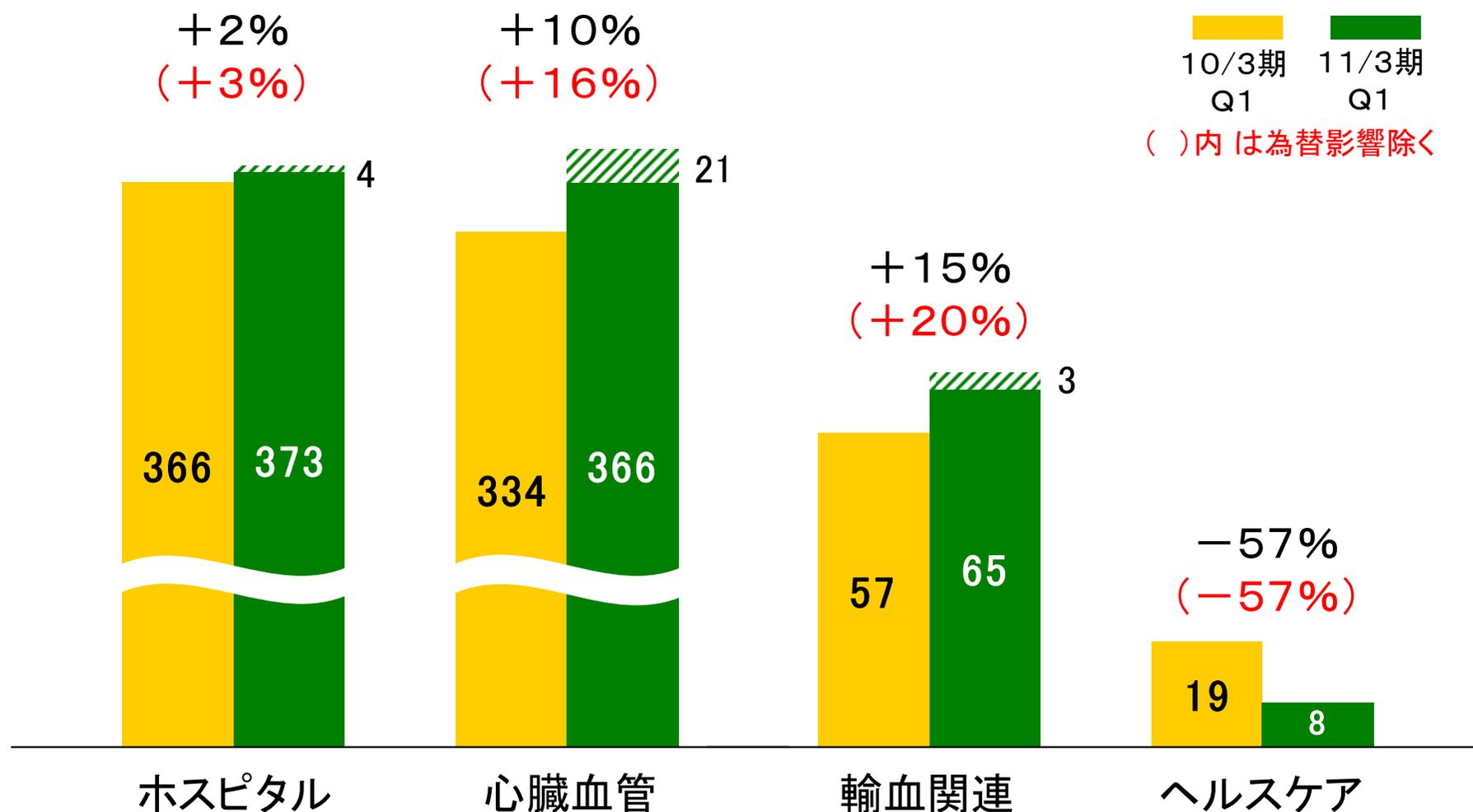
海外比率 45%→48%

# 売上高 (事業セグメント別)

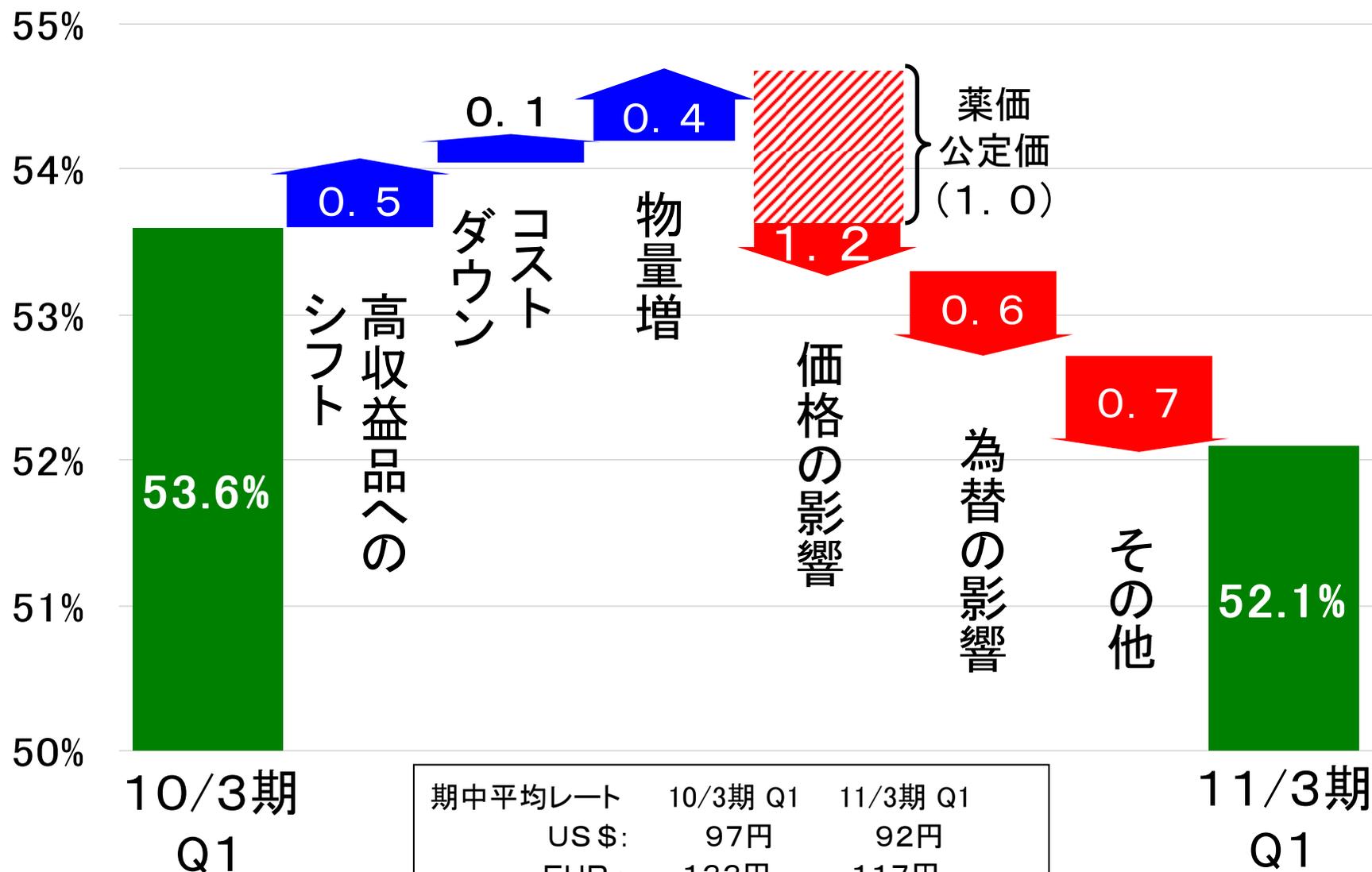
(億円)

10/3期 11/3期  
Q1 Q1

( )内は為替影響除く



# 粗利益率差異分析



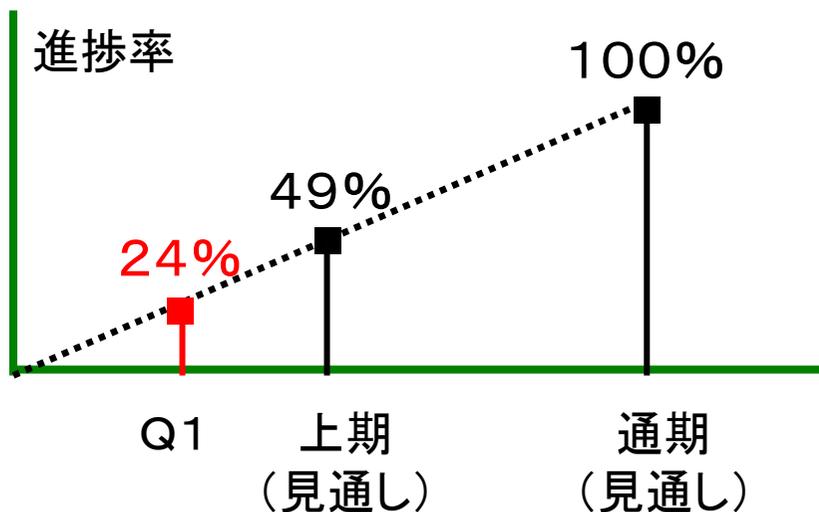
# 販管費

(億円)

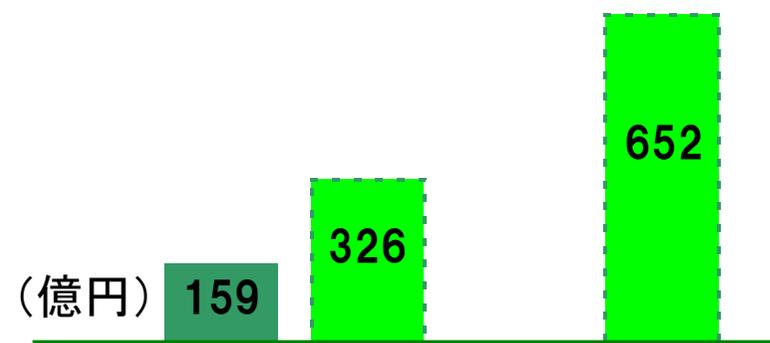
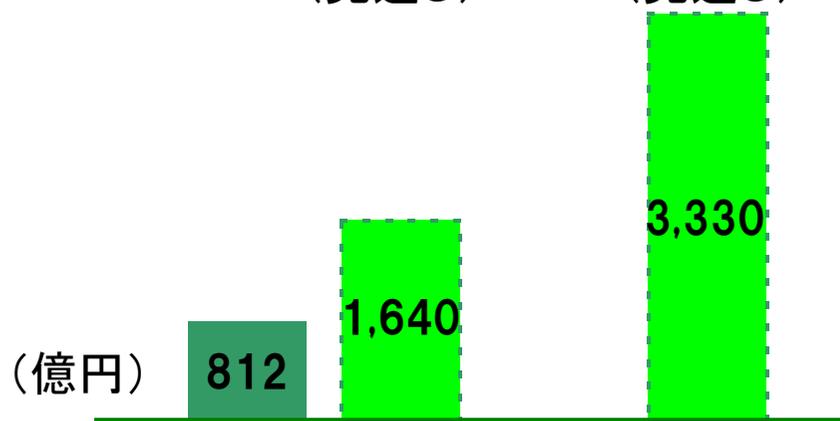
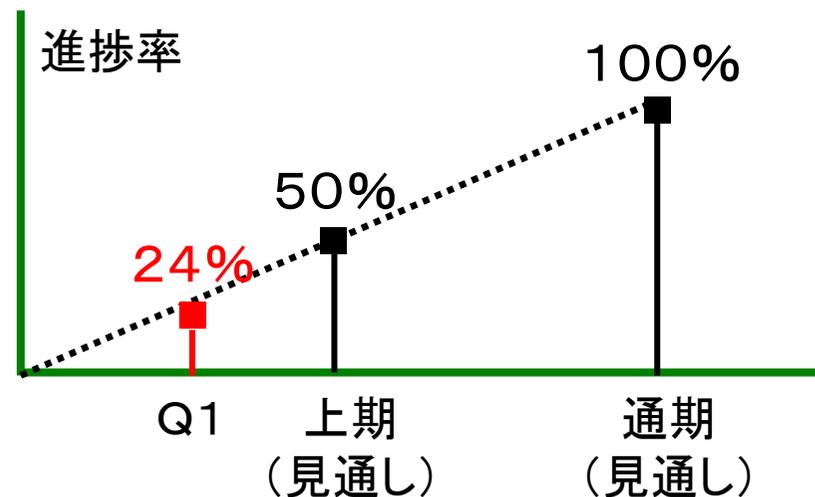
	10／3期 Q1	11／3期 Q1	増減	増減率
人件費	95	98	+3	+2%
販促費	26	26	+0	+2%
物流費	21	23	+2	+9%
償却費	13	11	-2	-15%
その他	57	57	+0	+1%
一般管理費計	212 (27.2%)	215 (26.5%)	+3	+2%
研究開発費	39 (5.1%)	49 (6.0%)	+10	+25%
<b>販管費合計</b>	<b>251 (32.3%)</b>	<b>264 (32.5%)</b>	<b>+13</b>	<b>+5%</b>

# Q1の進捗状況

## 売上高



## 営業利益



11/3期 通期想定レート

US\$ 90円 EUR 120円

# 年間目標の達成に向けて

---

- 好調な海外売上の維持
- 高付加価値品の拡大
- 積極的な開発投資

# 今期の重点戦略

---

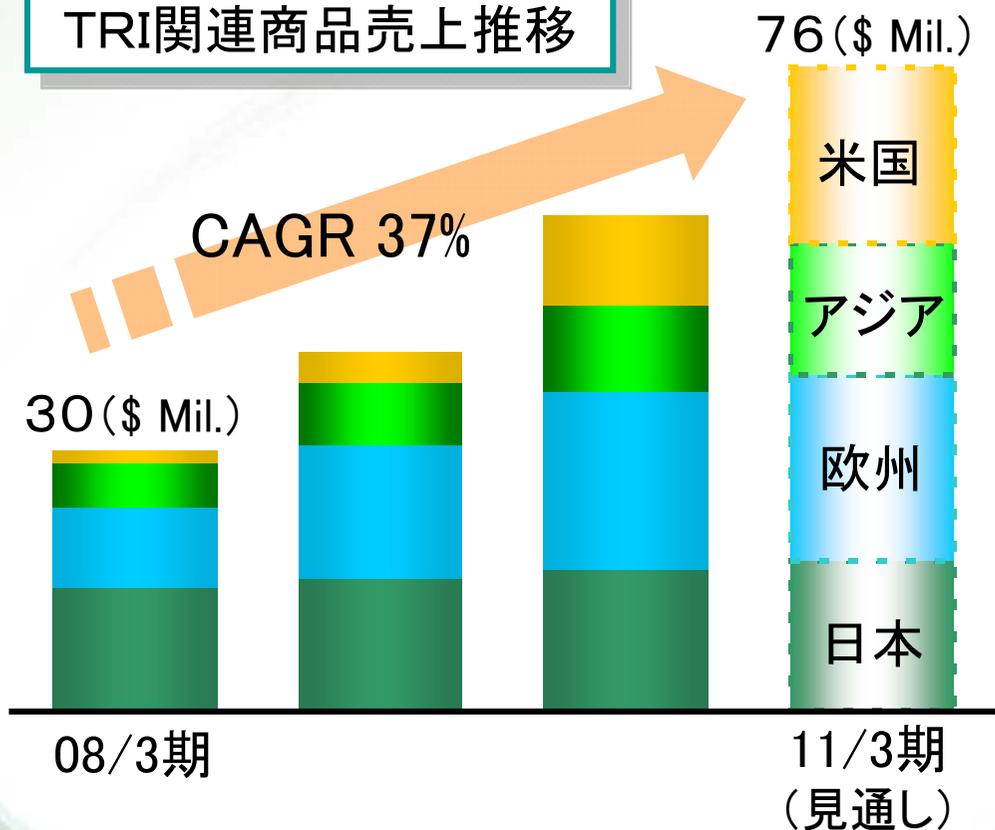
①医療経済性を高めるカテーテル戦略

②国内慢性期市場の開拓

# ① 医療経済性を高めるカテーテル戦略

## グローバルで拡大するTRI\*

TRI関連商品売上推移



TRI普及の三要素

- ① 製品改良、改善  
⇒ 細く、しなやかに
- ② トレーニング  
⇒ ドクター手技
- ③ 医療制度  
⇒ 医療経済性

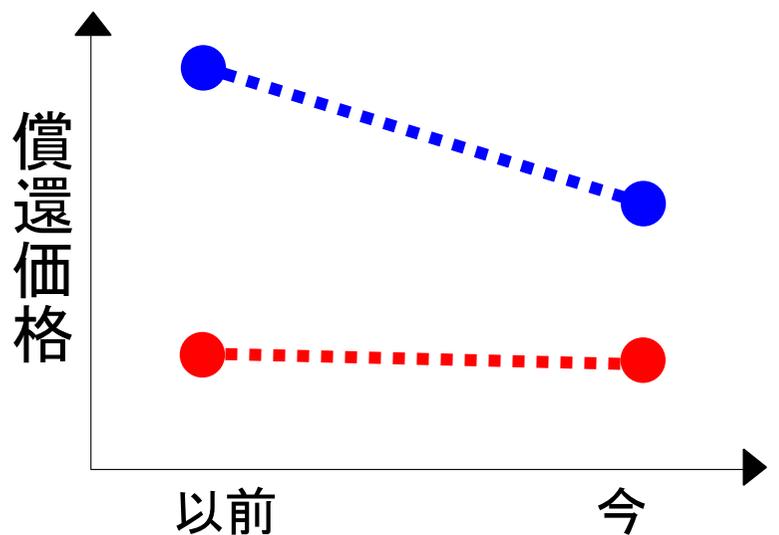
TRIが普及するには医療制度の変化が不可欠

# ①医療経済性を高めるカテーテル戦略

## 最大市場の米国でも大きな変化

医療制度改革  効率的・経済的な医療の要求

### 【入院治療の償還価格下落】



+

日帰り手術による  
病院側の負担軽減

- .....● 足からのカテーテル治療(入院)
- .....● TRI(日帰り)

# ①医療経済性を高めるカテーテル戦略

## 米国：継続的にTRI関連商品を投入

### 止血バンド

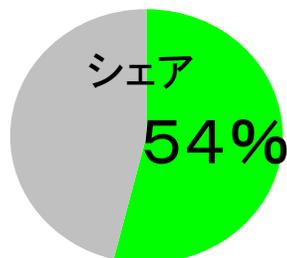


### TRI用ガイドワイヤー



次期PTCA用  
ガイドワイヤー

### シースイントロデューサー



### TRI用イントロデューサーキット (欧州販売中)



米国用  
バルーンカテーテル

既存商品

今後の商品パイプライン

# ①医療経済性を高めるカテーテル戦略

## 学会による普及活動

### 学会の教育講座への参画



WORKSHOPS: MONDAY, MAY 10, 2010, 7:00 PM-9:00 PM

#### Transradial PCI: Are You Ready

Sponsored by Terumo Medical Corporation

**Description:** Dr. Mauricio Cohen, University of Miami, and Dr. Ramon Quesada, Miami Baptist, will be present on how to start a successful transradial program along with the economic benefits.

Angiography Alone Is Not Enough

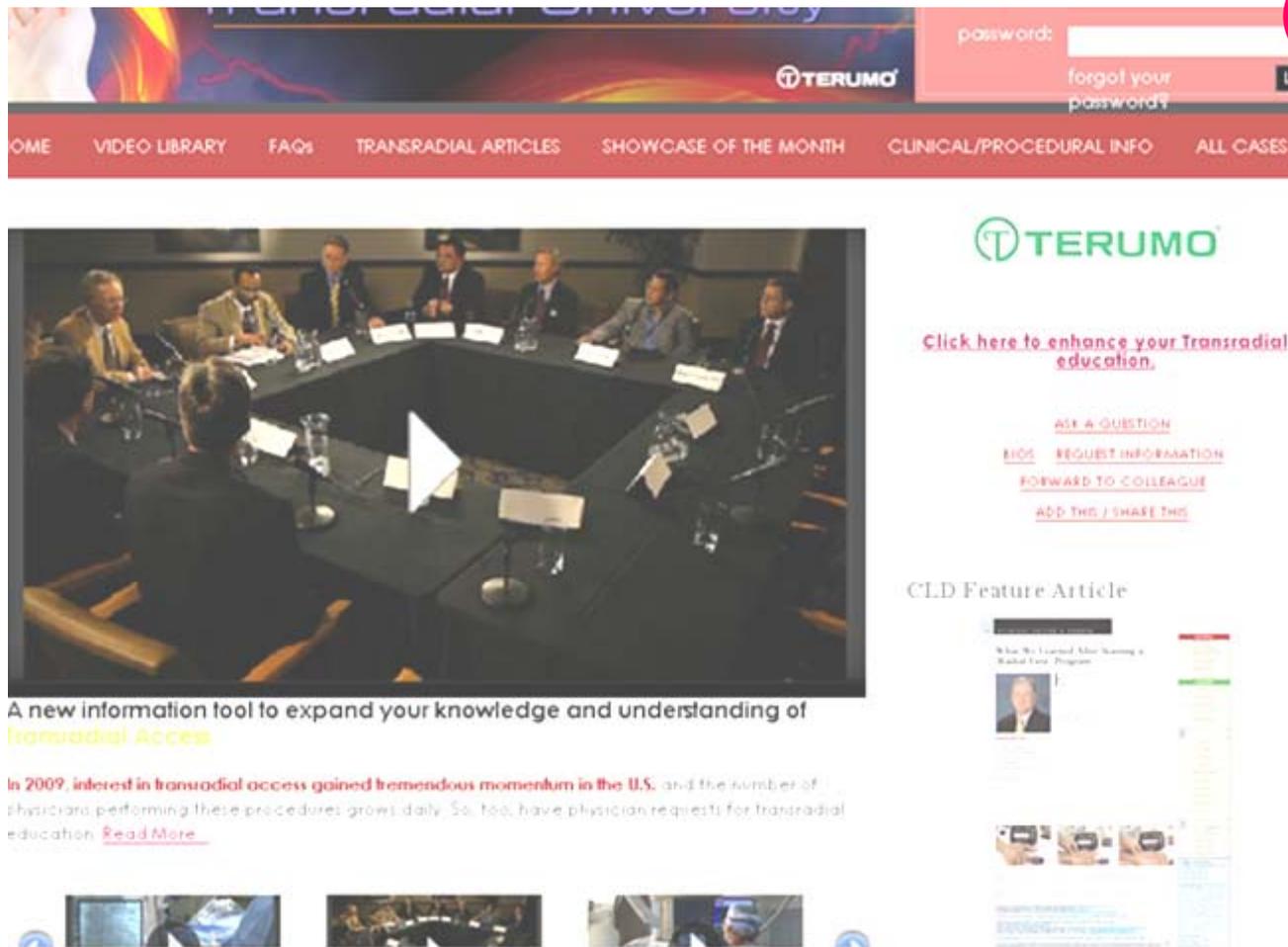


TCT2009 TRIセッションでドクターが次々に講演

▶ 高まるドクターの関心

# ①医療経済性を高めるカテーテル戦略 ウェブサイトを活用しての普及活動

2010年  
4月～



password:  forgot your password?

HOME VIDEO LIBRARY FAQs TRANSRADIAL ARTICLES SHOWCASE OF THE MONTH CLINICAL/PROCEDURAL INFO ALL CASES

**TERUMO**

Click here to enhance your Transradial education.

[ASK A QUESTION](#)

[REQUEST INFORMATION](#)

[FORWARD TO COLLEAGUE](#)

[ADD THIS / SHARE THIS](#)

CLD Feature Article

What We Learned After Starting a Walk-In Program

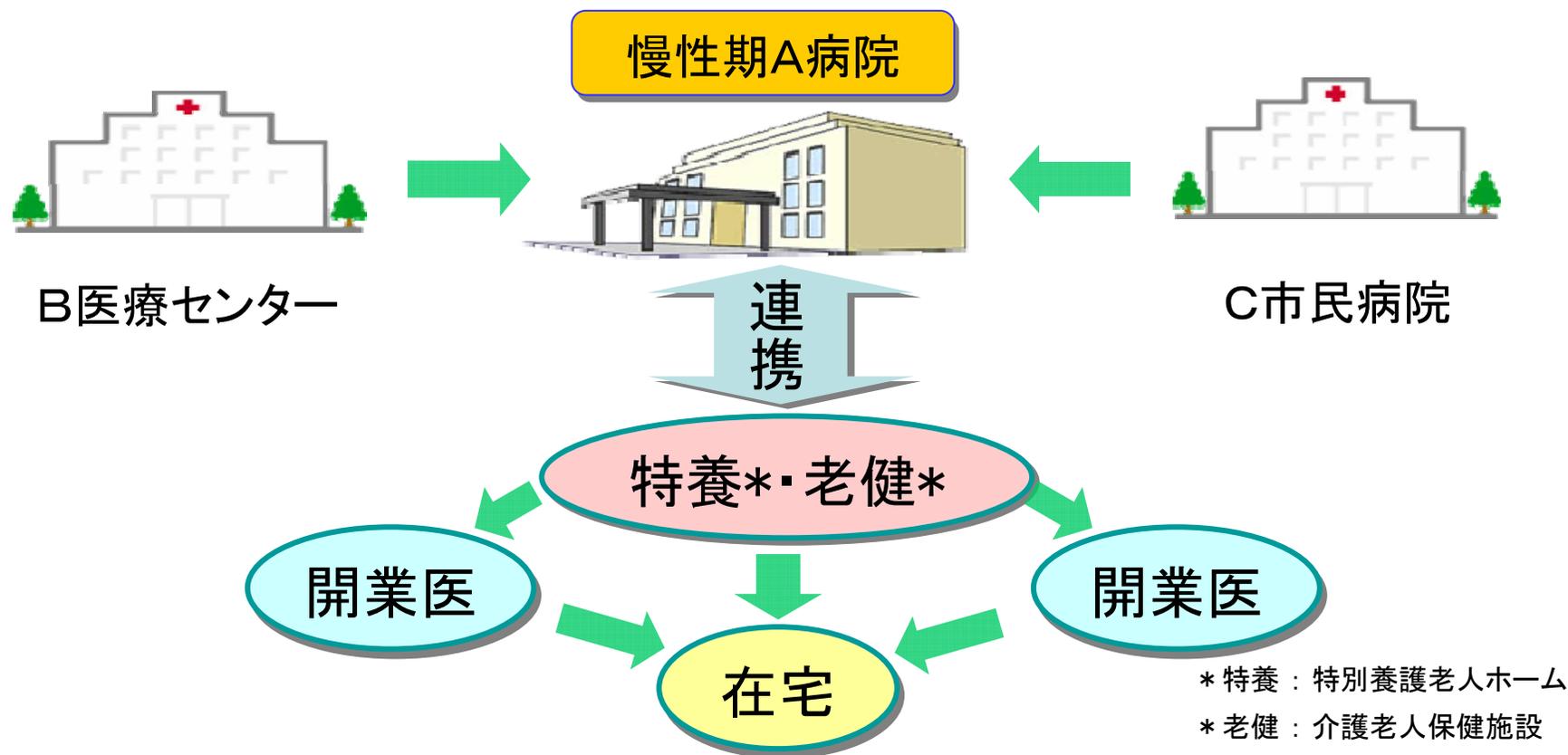
[Read More](#)

A new information tool to expand your knowledge and understanding of **Transradial Access**.

In 2009, interest in transradial access gained tremendous momentum in the U.S., and the number of physicians performing these procedures grows daily. So, too, have physician requests for transradial education. [Read More](#)

## ②国内慢性期市場の開拓

# 慢性期病院の医療高度化



診療報酬改定により慢性期病院に重症度の高い患者さんが移り、慢性期病院での医療が高度化してきている

## ②国内慢性期市場の開拓

# 慢性期病院の課題

- 看護師のスキル ▶ 復職者が多い、経験則で後輩に指示・対応
- 人材育成 ▶ 重症患者を抱え、時間も費用もない
- 医療処置 ▶ 点滴、胃瘻、吸引、血糖測定、導尿など

教育



商品

## ②国内慢性期市場の開拓

# テルモ製品が課題を解決

- 患者QOL
- 合併症予防
- 医療事故対策
- 業務負担軽減

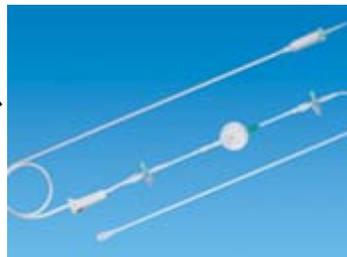
栄養	半固形栄養食品 栄養補助食品
輸液	ダブルバッグ製剤 輸液セット(感染防止機能付) 輸液ポンプ
糖尿病	血糖測定器、インスリン注入用針
透析	腹膜透析システム



半固形栄養食品



ダブルバッグ製剤



輸液セット



輸液ポンプ



血糖測定器



インスリン注入用針



腹膜透析液

# 参考資料

# 11/3期の収支概況 - 対年間見通し

(億円)

	<u>年間見通し</u>	<u>Q1実績</u>	<u>進捗率</u>	<u>為替影響</u>
売上高	3,330	812	24%	+5億円 (進捗率0.2%押上げ)
営業利益	652 (19.6%)	159 (19.6%)	24%	+3億円 (進捗率0.4%押上げ)
経常利益	650 (19.5%)	126 (15.5%)	19%	
純利益	415 (12.5%)	88 (10.8%)	21%	

## 年間見通し

為替レート(US\$)	90円	92円
(EUR)	120円	117円

# 11/3期の収支概況 - 対上期見通し

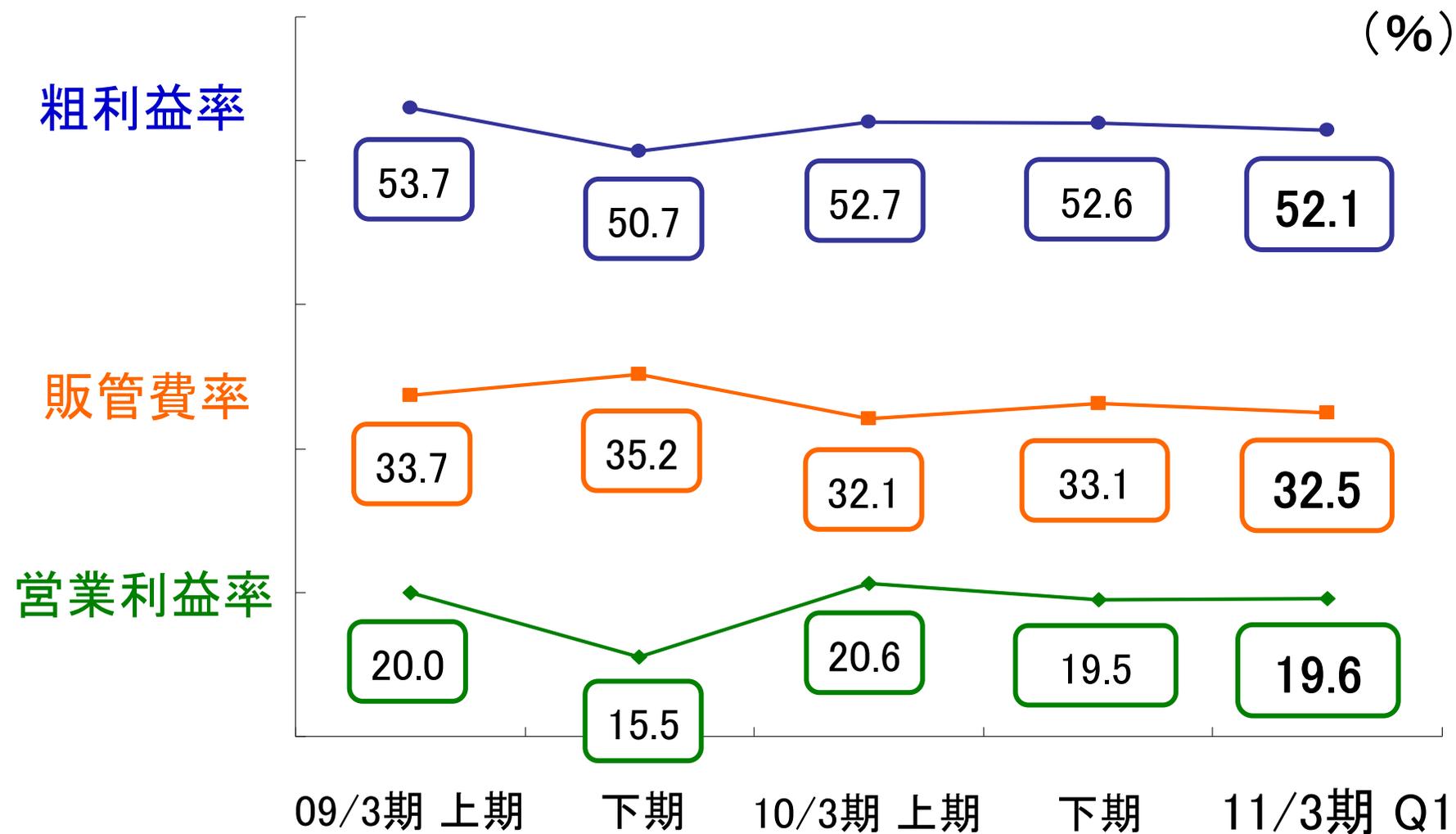
(億円)

	<u>上期見通し</u>	<u>Q1実績</u>	<u>進捗率</u>	<u>為替影響</u>
売上高	1,640	812	50%	+5億円 (進捗率0.3%押上げ)
営業利益	326 (19.9%)	159 (19.6%)	49%	+3億円 (進捗率0.9%押上げ)
経常利益	325 (19.8%)	126 (15.5%)	39%	
純利益	208 (12.7%)	88 (10.8%)	42%	

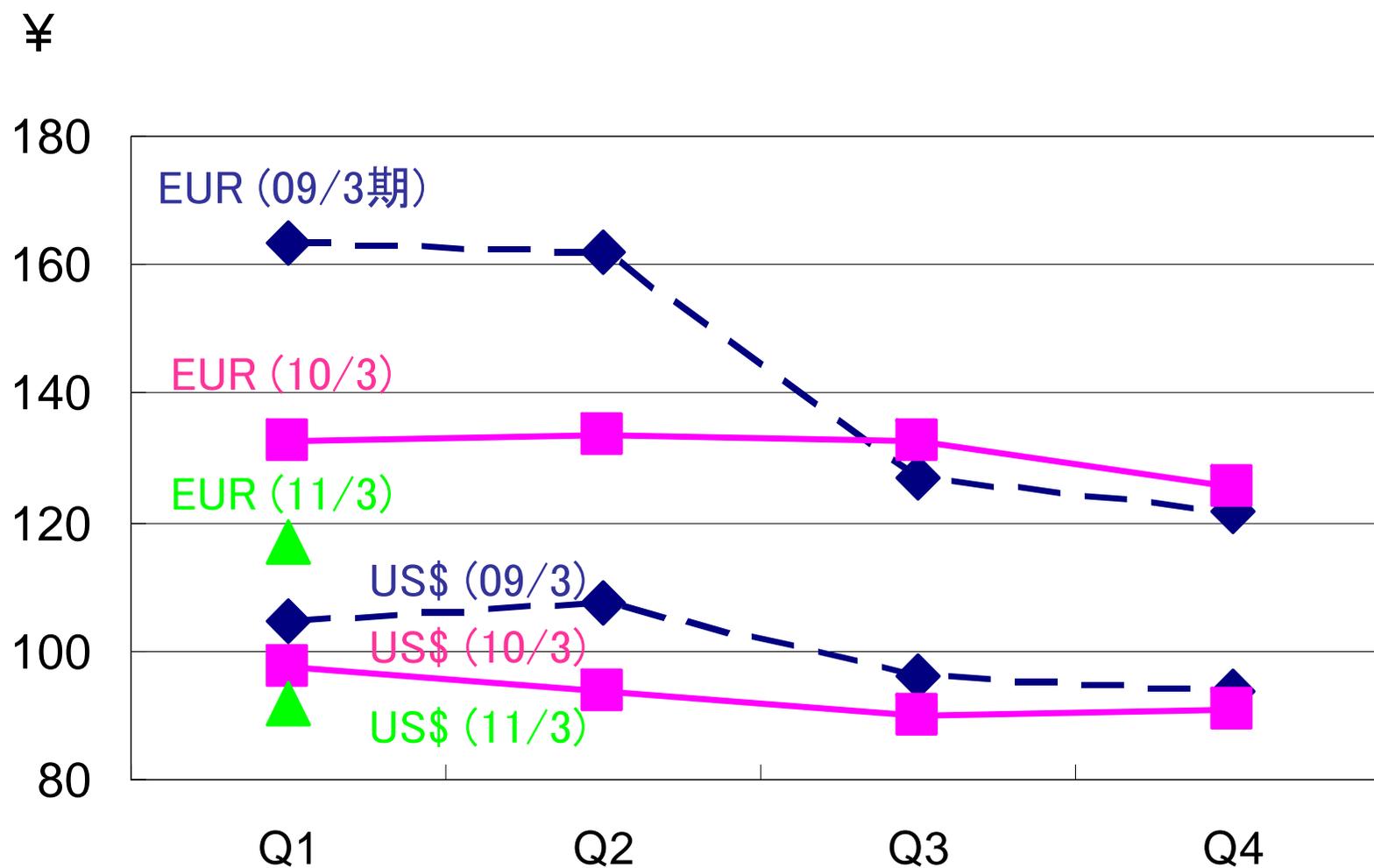
## 年間見通し

為替レート(US\$)	90円	92円
(EUR)	120円	117円

# 粗利益率、販管費率、営業利益率



# 四半期平均為替レートの推移



# 《おことわり》

本資料のうち、業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な限られた情報に基づき、テルモで判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。

また、市場規模等については、当社の独自の調査を含んでおります。